# 日本学士院

# 【講演一】 免疫力でがんを治す

講師 本庶 佑

◆司会 大村 智会員



日本学士院会員 京都大学高等研究院特別教授



【講演二】 知識創造によるソーシャル・ イノベーションの実践

講師

の なかいく じ ろう 野中郁次郎

◆司会 岩井 克人会員

日本学士院会員 一橋大学大学院国際企業戦略研究科特任教授

一橋大学名誉教授

開催日 平成 29 年 5 月 20 日 (土)

時 間 開場 12 時 30 分 開演 13 時 16 時 10 分終了

(講演は質疑を含めそれぞれ、80分程度を予定しています)

会場で徳島大学長井記念ホール

〒770-8505 徳島市庄町1丁目78番地の1

**共 催 徳島大学** 

後 援 徳島新聞社

事前申込制・先着順 ※申込方法は裏面をご覧ください

## 問合せ先

**日本学士院公開講演会係** 〒110-0007 東京都台東区上野公園 7-32 TEL: 03-3822-2101 FAX: 03-3822-2105 WEB: http://www.japan-acad.go.jp/



# 日本学士院 第66回 公開講演会

共催:徳島大学 後援:徳島新聞社

日本学士院では、広く一般の方々を対象に、本院の活動を理解してもら うことを目的として、会員を講師に毎年春・秋2回講演会を実施しています。 春季は全国各地、秋季は上野の本院会館で開催し、専門分野の異なる講師 により研究成果を社会に分かりやすく発信しています。今回は徳島大学の 協力を得て、初めて徳島で開催することになりました。

日本学士院には各分野で高い業績を挙げた研究者が多数所属しています。 本院会員のお話を聞いていただけるこの機会に、たくさんの方からのお申 込みを心よりお待ちしております。

講演 1

## 免疫力でがんを治す

Cancer Immunotherapy by PD-1 Blockade

ほん じょ たすく

PD-1 は、1992年に京大医学部の石田らによる偶然に発見された分子である。その後の 1998年までの遺伝子欠失マウスを使った研究で免疫応答にブレーキをかける受容体であ ることが証明された。2000年には京大と Genetic Institute との共同研究で PD-1 のリガン ドも発見された。2002 年岩井らはマウスモデルで PD-1 とリガンドの会合を阻害し、免疫 活性を増強することによって抗がん能力が著しく高まることを発見した。この知見をもと にヒト型 PD-1 抗体を作り、がん研究に応用することを提案し、2006 年ヒト型 PD-1 抗体 の作製が行われた。その後治験が進み PD-1 抗体はメラノーマの治療薬として 2014 年 6 月に PMDA によって承認された。現在、世界中では 200 件近くの PD-1 抗体による各種が ん腫治療への治験が進行中であり、有効性が確認されつつある。今後は日本の企業が次の アカデミア由来のシーズ誕生にどのように貢献するか注目される。 **司会 大村 智会員** 

【講師プロフィール】

京都大学医学部卒業。大阪大学教授、 京都大学教授等を歴任。リンパ球が抗 体遺伝子にクラススイッチ組換えと体 細胞突然変異という遺伝子改変を導入し、 ウイルスや細菌などの病原体の認識と排除 に最も適した抗体を作る什組みを解明。 とりわけこれらの遺伝子改変の際に、 DNA に切断を入れる酵素、活性化誘導 シチジンデアミナーゼ (AID) を発見 し、そのメカニズムを明らかに したことは国際的にも評 価されている。

講演2

## 知識創造によるソーシャル・ イノベーションの実践

Practicing Knowledge Creation as Social Innovation

の なか いく じ ろう

現代社会は、ローカルとグローバルな関係が、複雑に入り組み大きな流れをつくり、 絶えず動いている。このような背景のなか表面化する社会的課題を解決するために、社 会の仕組みを変える新たな知識と価値をつくるソーシャル・イノベーションの動きが活 発化している。知識創造理論の観点から見れば、ソーシャル・イノベーションとは、地 域の組織や人々が新たな関係性をつくり、その地域特有の歴史や伝統、文化などの暗黙 知や有形無形の資産を新たな形や手法で活用して、新しい知識と社会的価値を創造し、 社会を変革する活動である。本講演では、「知」から社会的価値を創出したコミュニティ・ 企業・NPO の実践事例をもとに、知識経営の観点から地域社会の活性化を考える。

司会 岩井克人 会員

【講師プロフィール】

早稲田大学政治経済学部卒 業。一橋大学教授、北陸先端科学 技術大学院大学教授等を歴任。日本 企業と米国企業の実践的な比較研究に よって、日本企業の経営の強みが組織的な 知識創造にあるという洞察のもとに、組 織的知識創造理論を新たに提示し、日本 のみならず世界における経営学の発展 に多大な貢献をした。この理論は 欧米の経営学者や実務家に

も広く受け入れら れている。

#### 申込方法(定員 280 名・先着順) ※事前にお申込みが必要です。

e-mail、ファックスまたは往復はがきのいずれかの方法で、住所、氏名(ふりがな)、 電話番号、ファックス、メールアドレス等の連絡先を記載して、下記の申込先にお送 りください。お席に限りがございますので、お申込みはお早めにお願いいたします。 ◎本院ウェブサイト http://www.japan-acad.go.jp/ からもお申込みできます。

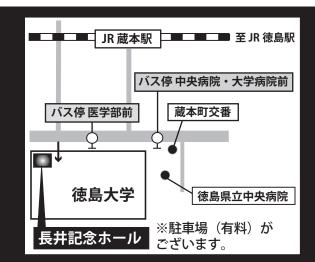
#### 申込・問合せ先

公開講演会係 〒110-0007 東京都台東区上野公園 7-32 TEL: 03-3822-2101 FAX: 03-3822-2105 e-mail: kouenkai@japan-acad.go.jp

#### 交通・会場ご案内

電車:JR 蔵本駅下車、徒歩約 5分

バス:JR 徳島駅から徳島市営バス又は徳島バスで「医学部前」又は 「蔵本中央病院・大学病院前」下車、徒歩約2分



〔徳島大学蔵本キャンパス〕 http://www.tokushima-u.ac.jp/access/kuramoto/